

日语课外读物丛书

〔日〕石黑修著

ことばのエチケット
日语中的礼貌用语

上海译文出版社

日语课外读物丛书

日语中的礼貌用语

ことばのエチケット

〔日〕 石 黒 修 著
董黎民 胡效愚 注释

上海译文出版社

日语课外读物丛书
日语中的礼貌用语
〔日〕石黑修 著
董黎民 胡效愚 注释

上海译文出版社出版
上海延安中路 955 弄 14 号
新华书店上海发行所发行
江苏南湾印刷厂印刷

开本 737×1092 1/32 印张 7.875 字数 140,000
1985 年 2 月第 1 版 1986 年 2 月第 1 次印刷
印数 1—41,000 册

书号: 9188·260 定价: 1.00 元

《日语课外读物丛书》出版说明

根据教育部召开的“全国高等院校日语专业教材规划会议”的精神，为了帮助高等学校在校日语专业学生和社会上日语学习者提高日语水平，满足广大读者扩大日本语言和日本概况知识的需要，特由北京外国语学院、天津外国语学院和上海外国语学院等三院校分别组织人员，共同商定编选方针，选择日本原版书籍中知识性、科学性、趣味性较强，语言文字比较规范的文章，进行注释，辑成这套《日语课外读物丛书》。

本丛书内容着重介绍有关日本的社会生活面貌、风土人情、产业经济、历史、地理、语言习惯、人物传记等各方面的情况，分册陆续出版。

前 言

石黑修是日本中京大学讲师，日本国语教育学家，多年从事日本国语教育和语言政策的研究。曾任日本国语教育学会顾问、口语会副会长、言论科学振兴协会理事、日本青少年文学振兴会理事等职。

本书原名《ことば》，是作者应邀为朝日新闻社出版的《朝日咨询服务》丛书撰写的，并作为该丛书的第一个分册出版。1977年经作者修改、整理印成单行本，将书名改为《ことばのエチケット》。

语言是人们表达思想感情，进行交际的工具。因此，根据时间、地点、场合和对象恰当地运用语言对于人们进行正常的交往是十分重要的。作者分别按日常生活、婚丧嫁娶和演讲致词等不同场合，结合具体事例提出了在语言使用上应当注意的问题。这对于我们学习日语，了解日本人的思想感情，乃至了解日本文化都会有所裨益。

因此，我们向读者推荐这本书，并作了必要的注释。但由于水平有限，难免有错注与不足之处，敬希指正。

在注释过程中，曾得到天津外国语学院日语系的同志大力协助，并承丁大同志审订，谨在此表示感谢。

注释者

一九八五年二月

ま え が き

ことばは、わたしたちが^{い し}意思や^{かんじよ}感情を^{ひようげん}表現して、^{ひと}人に^{でん}伝達するものであるが、^{こんにち}今日では、それらを^{いんぺい}隠蔽するものでもあるといわれている。これは、ことばを使う^{つか}意図^{い と}による^{ちが}違いで、ともに、ことばによる^{ひようげん}表現が^{あいて}相手に^り理解^{かい}され、^{でん}伝達^{だつ}できることでは同じである。そして、^{ただ}正しく、^{はや}速く、^{よう}容易^いに、^{ところよ}快くそれが^{のぞ}できることが望ましい。それがことばづかいである。

この本では、^{ほん}日常生活に^{にちじようせいかつ}最も^{もつと}身近な^{み じか}ことばづかい^とを取りあげ、それに^{こころ}心や^{たいど}態度^のについても述べた。ことばづかいは^{こころ}心づかいであり、^{たいど}態度を^{ともな}伴うエチケットであるからである。そして、^{あいて}相手と^{とき}時と^{ところ}所と^ば場^{そく}に^か即して書いた。

^{こんにちかざお}今日数多く出ている^で話し方^{はな}の本^{かた}には、^{ほん}敬語^{けいご}のことがよく^の述べてある。敬語や^{きようつうご}共通語^{ひようじゆんご}(標準語)をいいことば^{おも}と思ったり、^い言ったりする人もあるが、^{あいて}相手や^{とき}時、^ば場などによつては、それは必ずしもよいことばではない。少なくとも、ふさわしいことばではない。また、よいことばというよりも、ことばづかいとして^{たいせつ}大切なことは、^{ただ}正しく、^{はや}速く、^{こころより}快く^{かい}理解され、^{でんたつ}伝達できるように^{ひようげん}表現することである。そのため^{はな}に、だれが、だれに、いつ、どこで、話してもおかしくな

い、いやな^{かん}感じを^{あた}与えないことをまず^み身につけることが必要^{ひつよう}であると、わたしは^{かんが}考えている。

この本の^{はん}題名^{だいめい}の「ことばのエチケット」の「ニチケット」は、日本語化して「作法」、^{れいほう}「礼法」の意味に用いられているが、フランス語の元の意味は「札」、あるいは^{つうきつ}「通札」である。それで書名は、ことばの生活における「通札」というつもりである。

この本は、「ことば」と題して、朝日新聞社の「アサヒ相談室」シリーズの一冊として書いたものに手を加え、書き直したものである。今日、話し方や敬語の本は^{ばん}沢山^{ざいざん}あるが、そのころはそうしたものがほとんどなかった。現在もこのような角度から書いたものはないといってもよい。

今度新しく書き加えた、巻頭の「物言わぬ人」が最近めだ^{とんど}って多い。戦後、学校教育で話しことばの指導が従来の書きことばに加えて行われ、話し方ブームといわれるほど、数多く本が出、講習会が開かれ、みんながよく物を言うようになったといわれる反面、「物言わぬ人」がふえているのは皮肉であり、何かその教育に欠けていたものがあるのではないかと反省される。それがこの本を出すことにしたゆえんでもある。

なお、この本を出すことには、戦前からの古い知り合^{しんこうしや}い、信光社の高木四郎さんに特別のお世話になったことを書きそえ、出版される教育出版の方々に感謝の意を表

する。

一九七七年秋十一月

いし ぐろ おさむ
石 黒 修

目 次

物言わぬ人	1
話しぐせとなまり	5
日本人の話しぐせ	10

上手なことばづかい

1 ことばとことばづかい	15
2 ことばは使い方	18
3 話のうまい・まずい	20
4 ことばの選び方(相手・時・場・所)	22
5 話のいろいろ	25
6 ことばと声と話	27
7 声の出し方	30
8 話す時の注意	32
9 表情と身振り(態度)	35
10 雄弁と沈黙	38
11 聞き上手	40

話す時のことば——人を呼ぶ時

12 使うことばの違い	45
-------------------	----

13	自分を指すことば	47
14	相手のこと	49
15	夫と妻の呼び方	51
16	父母と子どもの呼び方	53
17	人の名の呼び方(敬称)	55
18	第三者の呼び方	58

話す時のことば——ことばの違い

19	広く、多くの人に通じることば(共通語)	62
20	土地のことば(方言)	64
21	相手によることばづかいの違い	67
22	うやまいことば(敬語)	69
23	「お」をつけることば	71
24	動作を表す敬語	73
25	女のことば	75

日常のよく使うことば

26	呼ぶ時・呼ばれた時	80
27	返事	82
28	「ありがとう」	84
29	「どうぞ」と「ぜひ」	87
30	「どうしまして」「結構です」「よろしく」	89
31	相づちのことば	91

32	気持ちを表すことば	93
----	-----------	----

日常のあいさつ

33	会釈とお辞儀	99
34	だいなあいさつ	101
35	日常のあいさつ	104
36	食事の時のあいさつ	106
37	別れのあいさつ	108
38	途中で会った時	111
39	紹介する時	113
40	人を訪ねる時(訪問)	115
41	会って話す時(訪問)	117

改まったあいさつ

42	改まったあいさつ	120
43	祝いのことば(1)結婚・出産・入学・卒業・就職	122
44	祝いのことば(2)栄転・新築・開店・全快・当選	125
45	悔やみの時	127
46	見舞う時(1)病気	129
47	見舞う時(2)災難	132
48	慰める時・励ます時	134

49	礼を述べる時	137
50	物を贈る時・贈られた時(贈答)	139
51	婚約(結納)・結婚のあいさつ	141
	結婚披露宴での媒酌人のあいさつ	144

時に応じた話し方

52	尋ねる時・聞く時	148
53	教える時・案内する時・説明する時	150
54	答える時	153
55	口頭試問	155
56	口頭試問に成功するには	157
57	知らせる時・届ける時	159
58	誘う時・勧める時(勧誘)	161
59	頼む時・借りる時	164
60	頼み方いろいろ(依頼)	166
61	言いつける時(命令)	168
62	引き受ける時・断る時	170
63	いろいろな断り方 借金・縁談・押し売りなど	173
64	確かめる時	175
65	ほめ方	177
66	小言を言う時(苦情・文句)	179
67	しかる時・しかられた時	182

68	説き伏せる時(説得).....	185
69	わびる時(謝る時).....	187
70	電話をかける時.....	190

相手による話し方

71	女性との会話.....	194
72	男性との会話.....	196
73	恋人(愛人)との会話.....	199
74	夫婦のことば.....	201

人と立場によることばづかい

75	主婦のことばづかい.....	206
76	子どものことば.....	208
77	買い物をする時のことば.....	211
78	応対のことば 店員(売り子)のことばづかい...	213
79	窓口のことば一受付.....	215
80	職場のことば.....	218

いろいろな話し方

81	用談(商談)・相談.....	221
82	会合のエチケット.....	223
83	式辞・テーブルスピーチ.....	225
	帰朝歓迎会における幹事のあいさつ.....	228

84 会議の時..... 230

85 マイクを使って話す時・放送..... 233

付

電話と電報 43

電文の書き方 60

手紙 78

はがきを書く 96

日記を書く 192

日記..... 203

物言わぬ人

近ごろは、話すことは民主主義などともいわれ¹、職場などでも、会合や会議がよく催されている。みんなが以前に比べると、自分の思うことをよく発言するようになった。そして、討議・討論が盛んに行われている。

ところが、その反面、皮肉なことに²、最近の日常の個人的生活の中では、人々が妙に無口になり、無愛想になって³、簡単なあいさつなどもしなくなったように思える。集会などではよくしゃべるのに、ごく普通のあいさつや返事をしない人が目立って多くなっている。

以前は、店屋に入れば「いらっしゃい」で迎えられ、「伺さしあげましょうか」とたずねられ、「これはいかがでしよう。こちらはお徳用⁴で[このごろ入ったばかりで]」などと品物をすすめられた。別の方を見ると、「こちらでしようか」と快く取ってくれ、買う段になって、代を払えば、「あ

-
1. (話すことは民主主義などともいわれ) 说话被认为是(一种)民主…。
 2. (皮肉なことに) 具有讽刺意味的是…。
 3. (人々が妙に無口になり、無愛想になって) 人们格外地变得寡言、冷淡。“无口”寡言、话少。“无爱想”冷淡、不会说话。
 4. (お徳用) 经济适用、物美价廉。

りがとうございます」と言われ、帰る時にもまた、「毎度あ
りがとうございます¹」と言われたものである。

それがこのごろは、「それをください」と言うと、黙って
その品を差し出されることがほとんどである。「幾らです
か」と聞けば、ぶっきらぼう²に「七十五円」と値段だけで
答え、後に続くはずの「でございます」を言われることはま
ずない³。そして百円を出すと、黙ったまま二十五円のお
釣りをくれる。別のを見せてくれなど言えば、はいと黙
って出すか、「どれも同じですよ」と言う⁴。

たばこ屋で、タバコを買おうと思って金を出したら、ガ
ラスケース⁵にはタバコが並べてあるのに、店先で家の人と
何か話していた女の子が、黙ったまま外を指差した。見る
と、軒下に自動販売機があった。

乗り物の中で、年配の婦人に席をゆずったり、落とし物
を拾ったりしてやっても、黙って座^{だま}ったり、受け取^{うけと}ったり
する。朝夕の混雑時には、ちょっと人の体にさわったり、
足を踏んだりすることがよくある。そんな時にわびを言わ

1. 「毎度ありがとうございます」承蒙多次光顾，谢谢。
2. 「ぶっきらぼう」(说话)生硬粗鲁。
3. 「後に続くはずの…はまずない」理应说出接在下面的“でございます”，却很少有人说。“はず”当然，应该，理应。“まずない”几乎没有。
4. 「はいと黙って出すか、「どれも同じですよ」と言う」或者是一声不吭“啪”地一扔，或者是说句“哪个都一样”。“はい”轻轻地(抛掷)。
5. 「ガラスケース」玻璃柜。

ないで、素知らぬ顔^{そし かお}をしたり、ちらっと相手を見て、ふいとそっぽを向いたりする者が多い^{もの おお}。

混み合っている乗り物が駅に着いて降りるとき、黙って、ただ押して出ようとする。「降ります」とか、「ごめんなさい」とか一言声をかけたら、周りの人は無理をしてでも、わきへ寄ってくれると思うのに、黙って押す。

電話が普及して、よく電話がかかってくる。「〇〇です」と受けると、黙ってガチャリ^{でんわ よきゅう}。間違^{でんわ}ってかけたらしい。中には、「チェッ」「なんだ」と言って切るのもある。「もしもし、〇〇さんですか」に、「はい、そうです」と答^{こた}えると、「あのねえ」で用件を言ったりし、その依頼を断ると、「だって」と言ったりするOLらしい人もある^{ひと}。

ことばは、自分の言いたいことだけを、言いたい時にだけ用いるものではないはずである。あいさつのことばも、返事のことばも知っている。言うこともできる。しかし、それで言わないとなると、それは話^{はな}すこと、話^{はな}し方^{かな}の問題ではないともいえる。

1. (素知らぬ顔)装出不知道的样子。“素知らぬ”佯作不知。
2. (ふいとそっぽを向いたりする者が多い)或者是马上把脸一扭，这样的人很多。“ふいと”(突然表现出)不高兴、不耐烦的样子。“そっぽを向く”扭过脸去，不理睬。
3. (ガチャリ)咔嚓一声(把电话搁下)。
4. (「だって」と言ったりするOLらしい人もある)也有象女事务员似的人，说一句“だって”。“OL”是英语 office lady 的缩写。